

令和3年度 指定管理者運営評価シート

所管課	育成センター課
-----	---------

1 公の施設

公の施設の名称	西宮市立浜脇留守家庭児童育成センター
所在地	西宮市浜脇町5番48号(西宮市立浜脇小学校内)
施設概要	(1)建物概要 以下、①は第1育成センター、②は第2育成センター、③は第3育成センターを指す。 ① ア 建築年月日 平成2年10月 イ 建築面積 97.07㎡ ウ 構造 鉄骨造2階建のうち2階部分 ② ア 建築年月日 平成14年9月 イ 建築面積 62.07㎡ ウ 構造 鉄骨造2階建のうち1階部分 ③ ア 建築年月日 平成18年3月 イ 建築面積 119.64㎡ ウ 構造 鉄骨造平屋建 (2)定員 ① 60名(弾力運用時70名) ② 40名(弾力運用時43名) ③ 60名(弾力運用時77名)
施設の設置目的	児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に適切な遊びと生活の場を与えて健全育成を図る。

2 指定管理者

指定管理者	団体名	社会福祉法人 神戸YMCA福祉会	指定期間	開始日	令和 2 年 4 月 1 日
	所在地	神戸市中央区加納町2丁目7番11号		終了日	令和 6 年 3 月 31 日
選定方法			公募	評価対象年	指定期間 4 年のうち 1 年目

3 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	(1) 開館時間 ア 小学校の授業日 下校時から午後7時まで イ 小学校の休業日 午前8時から午後7時まで(土曜日は午後5時まで) (2) 休館日 ア 日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日 イ 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで ウ 上記ア・イのほか市長が特に必要と認める日 (3) その他、市と指定管理者が締結する基本協定並びに西宮市立留守家庭児童育成センター条例(昭和63年西宮市条例第81号。以下「条例」という。)及び同条例施行規則(昭和63年西宮市規則第99号。以下「規則」という。)並びに西宮市立留守家庭児童育成センターの設置運営に関する事務取扱要綱等市の関係要綱・要領の規定に基づいて管理運営を行うこと。
②施設の事業・運営関係	(1) 児童福祉法第6条の3第2項に規定する目的を達成するために市長が必要と認める業務 (2) 留守家庭児童育成センターの利用申請受付及び利用許可に関する業務 (3) 留守家庭児童育成センターの施設及び設備の維持管理 (4) 留守家庭児童育成センター運営委員会に関すること。 (保護者、小学校代表、地域団体代表など地域の関係者や関係機関による運営委員会の設置が必要です。) (5) その他留守家庭児童育成センター設置の目的を達成するため市長が必要と認める業務 労働実態調査の結果： 問題なし 調査結果後の指示事項： 特になし
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	当初及び指定期間中の提案： 市内3育成センター(香櫨園・用海・浜脇)との交流会を実施し、学校外での児童のつながりをつくる。また、キャンプ等の野外活動で全国的に高い評価を受けており、それらの実績を活かした専門的で効率的な事業運営を行う。夏休みには1泊のキャンプを実施している。 取組結果： 市内3育成センター交流会の実施は継続して行われたものの、例年の夏休みのキャンプについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を取りやめた。 今後の改善点： 非日常的な行事に参加し、大学生のボランティアリーダーと交わることで、新たな気づきや関わりが生まれ、日常の保育現場でも活かされているため、引き続き、継続的に実施する。

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
① 利用人数(4月1日現在)	人				176	160
②						
③						
④						
⑤						

4 利用者アンケート等の結果(指定管理者が実施したもの)

①利用者アンケート等の実施日・手法	令和3年3月12日～令和3年3月31日 手法:アンケート用封筒に入れ、育成センターへ提出
②利用者アンケート等の結果	回答数:63 児童が育成センターを楽しく過ごしているかについて、約9割が「そう思う」、「ややそう思う」と回答している。一方、指導員から児童の様子を聞く機会が十分かどうかなどの意見や要望への対応については、「そう思う」、「ややそう思う」の回答は約6割に留まっている。
③結果からの改善点など	アンケート結果から運営について、高評価を得られている。しかし、利用者からの意見や要望等への対応については、改善の余地がある。

5 指定管理者の安定性及び継続性の評価

①評価結果	指定管理者本体の経営状態について、「安全性」及び「収益性」の観点より経営分析を実施し、いずれの項目においても、問題は無いといえる。また、指定管理業務における収支決算報告書からも、管理運営の安定性については、概ね良好といえる。
②評価結果を受けての指示事項	特になし

6 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(年度協定額)
指定管理料				47,735	42,821
うち光熱水費				(950)	
うち修繕料				(0)	
うち備品費				(1,607)	
補足説明	「指定管理料」の「うち数」は、その金額が明確な場合のみ記入している。また、「うち数」の合計は、指定管理料と同じではない。				

7 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(予算)
使用料	補足説明欄参照				
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	0	0	0	0	0
補足説明	使用料の徴収は市が直接行っており、育成センターごとの収支状況を指定管理者の運営指標としていないため、使用料収入額は育成(東山台)のシートに全育成センター分をまとめて記入している。				

8 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	仕様書等に規定された業務はおおむね履行されている。 指定管理者から市への提出を義務づけている毎月の事業報告書、指定管理者の事務局への運営状況に関するヒアリング、令和2年度に市が実施した利用者アンケートの結果などを総合的に評価した結果、現在のところ良好に事業運営されていると判断している。 今後の課題として、以下の取組みを求める。 ・強靱な組織体制の確立と職員への指導力の発揮 ・職員の安定的確保や育成
②指摘事項	特になし